



北小野

問 勝弦地区のため池は、塩嶺トンネルの減濁水対策として作られた。年数も経ち、老朽化し、小さなものでも危険だ。また、そのため池から取水しているU字溝も補修が必要になってきている。直下に住宅も有り危険だ。

答 長野県が、堤防高15m以上、貯水量10万トン以上のため池を対象に、一斉調査に入った。塩尻市では、沓沢湖・みどり湖が対象である。貯水量や堤体の状況を確認しながら、センサーを設置したりして、対策を打っていく。執行機関と連携していく。

問 信州Fパワープロジェクトで、原木の安定供給をする、山から木が無くなってしまうか。

答 現在、長野県の間伐材は20%しか利用されておらず、平成32年までに、50%まで引き上げる計画である。プロジェクトチームは、森林整備計画を50年〜100年のスパンで立てている。

問 御柱の時、大木を切った後に、植林して次の木を育てようとしているが、残念なが

ら食害で、木が育たない。そんな心配はないか。

答 長野県の森林が伐採期を迎えていて、間伐材はこのまま朽ちさせることになっている。植林をしながら、伐採を早めたい。

問 地域振興バスの勝弦北小野線が、休日・祭日に運休してしまう。利用者のことを考えて、運行できないか。

答 費用対効果を考慮して運行している。

問 チロルの森が休みだから運休する、という理由は市民目線ではない。利用者の多くは、チロルの森の客ではなく、一般の生活の利用市民だ。

答 市全体で年間6千〜7千円程度の赤字を出して走っている状況もある。皆様のご意見を執行機関に伝えていく。



北小野地区センター (10月17日)

洗馬

問 沓沢湖の今後の管理は、どうなるのか。

答 バルブの開閉などの維持管理は、本来なら所有者がすべきで、沓沢湖の所有権は松本市奈良井川土地改良区である。今後の方向は決まっておらず、検討中である。現在水を抜いて湖は廃止する方向で決まっている。市民の皆さんのご意見をお伺いしたい。

問 選挙の公営掲示板27箇所は、多すぎる。榑川村と合併して、今までの238箇所に榑川分41箇所を追加し、27箇所にした。それでも、まだ多いから経費削減で半減すべきだ。投票所に1枚で充分だ。

答 広く市民の声を聞いて判断しなければならぬ問題だ。選挙管理委員会に投げかけた。

問 可燃ごみの最終処分場がいつぱいにならないか。その後はどうなるのか。

答 松塩地区広域施設組合では、再生利用方法も考えている。埼玉県の工場では加工し再利用もしている。

答 塩尻朝日衛生組合は解散となったが、最終処分場は、



洗馬支所 (10月18日)

塩尻市と朝日村の所有である。目安では、15年くらいで、満タンになる予定であったが、市民の皆様の協力で、ごみ減量の効果があつて、20年以上に延命できた。しかし、それ以後の計画は白紙状態である。皆様と知恵を出し合いながらやっていきたい。

問 県議にもお願いしているが、市からも強く要望して、通学路の安全対策をお願いしたい。県道上今井洗馬停車場線や中原交差点など、以前からお願いしているも遅々として改良されていない。

答 以前、改良工事の時に、一気に実施してしまえば良かった。地権者のご理解が得られなかったため、中断したまま。近日中に、地権者説明会を開く予定となっている。